

かりゆし芸能公演

令和4年度沖縄県伝統芸能公演 国立劇場おきなわ公演

ていーだ
舞踊劇「太陽の花」

出演：沖縄歌舞劇団 美

監修：新崎恵子

演出・構成：小嶺和佳子

演出補助：比嘉清子

指導：徳元美幸・新里春加・仲嶺麗子

舞台監督：池宮一

音響・照明：国立劇場おきなわ

髪結・着付け：上原じゅん子・田口博章

ビデオ撮影：有限会社ウェブキャスト・エコ

写真撮影：泉谷壘

制作サポート：株式会社CHURA

主催：(一社)沖縄歌舞劇団 美

(公財)沖縄文化振興会

共催：(公財)国立劇場おきなわ運営財団

後援：沖縄県



かりゆし
芸能公演

令和4年度沖縄県伝統芸能公演 国立劇場おきなわ公演

ていーだ

太陽の花



OKINAWA SONG AND DANCE THEATRE Chura 沖縄歌舞劇団 美
Okinawa Song and Dance Theatre Chura

主催：(一社)沖縄歌舞劇団 美・(公財)沖縄文化振興会 共催：(公財)国立劇場おきなわ運営財団 後援：沖縄県

第一部

◆◆◆◆ 古典舞踊 四つ竹 ◆◆◆◆

琉球王国時代、中国の方々や本土の方々をお招きし唄と踊りて歓迎した踊りて「ようこそ いらっしやいました、今日は楽しんでいってください」との意味が込められています。

徳元美幸・新里春加・仲嶺麗子・與那國恵
幸地怜菜・宮里香澄・与那覇南美・国島采子

◆◆◆◆ 雑踊り 花風 ◆◆◆◆

船送りの場面、情けを深く染めた人の旅立ちを、ひそかに見送る風情が描かれております。

小嶺和佳子

◆◆◆◆ 創作舞踊 ^{ウマメー} ゆがふ馬舞 ◆◆◆◆

四方に旅立った兄弟や姉妹達が、再会の慶を分かち合い、共に世の中に福を招き心を一つに安寧を願う思いが込められた踊りです。

徳元美幸・新里春加・仲嶺麗子・與那國恵・新川博敏・比嘉フェルナンド

立方



小嶺 和佳子



徳元 美幸



新里 春加



仲嶺 麗子



與那國 恵



新川 博敏



比嘉フェルナンド



宮里 香澄



与那覇 南美



国島 采子



幸地 怜菜

地謡



三線
宜保 和也



三線
室井 恒慈郎



太鼓・胡弓
金城 安恵



笛
比嘉 いつみ



箏・笛
大城 淳紀



MC・歌
早田 恵美

唄者

第二部

舞踊劇「^{ていーだ}太陽の花」

桜の花咲く丘で出会った男女が、春に結婚し、待望の子供が生まれ、夏のお盆にはご先祖さまを敬い秋の収穫の時期には、村人総出で力を合わせ、大変な農作業も皆んなで楽しく歌いながら行う琉球王国時代の人々の生活を、季節を通して唄と踊りて表現する物語です。

冬

出会い 加那ヨー 軽快なリズムに乗って恋の仕草を明るく表現

春

結婚の儀 誓いの儀式 厳かな結婚の儀式

祝宴の舞 かぎやで風 祝宴の座開きとして踊られる祝儀舞踊

若衆踊り はつらつとした四季を寿ぐお扇子舞

^{ニーセー}二才踊り 力強いキレのある男踊り

武の舞 勇ましい古武道の舞

めでたい節 二人の門出を皆で喜ぶ祝福の舞

夫婦獅子 夫婦で共に歩む未来への舞

誕生 童神 我が子に贈る子守り唄

夏

お盆 獅子舞 沖縄の各地に伝わる獅子舞は守り神として崇められ悪霊を払い、村に繁栄をもたらす守り神

アンガマー踊り 八重山の民俗芸能で、あの世から来たお爺ちゃんとお婆ちゃんのほのぼのとした踊り

エイサー 子供も一緒に楽しく踊れる 美(ちゅら)創作エイサー

沖縄の唄 花(すべての人の心に花を)・平和ソング「^おへその音」

秋

収穫 汗水節 働く喜びを歌う労働教訓歌

マミドーマ クワヤカマを手にユーモラスな庶民の農耕舞踊

稲しり節 稲の収穫の様子をコミカルに表現した踊り

エンディング 打ち晴りてい遊ば 豊作に感謝し、心晴れやかに 喜びを踊りて楽しく表現

* 都合により出演者や演目に変更する場合がございます。ご了承くださいませ。